結い　だより

第７０号
発行
社会福祉法人　結い
〒703-8255
岡山市中区東川原18-1　203
TEL　086-206-7385
FAX　086-206-2801
発行責任者
前田　勝子

利用者家族親睦交流会　開かれました。

2023年7月15日猛暑の中、西河原プラザで3年ぶりになる利用者家族会が開催されました。ワークハウス・わくわく！・喜楽から、ご家族利用者あわせて6名と実習生1名、職員は各事業所の所長が参加しました。

それぞれの所長から2022年度の事業報告が行われ、その後利用者の方からは体調管理や６５歳になると介護保険へ促されることへの不安などが話されました。またご家族からはグループホーム設立への要望が出されました。

ハウスけやき高橋所長から、６５歳になっても障害福祉サービスの家事援助をそのまま利用してもよいこと、以前は６５歳を過ぎるとＢ型事業所が利用できなかったが当事者の運動と声で使えるようになったことなどが報告され、グループホームではないが社会福祉法人結いもこの４月から東川原１８－１にある北村コーポの贈与を受け、障がいがある人達が借りられるアパートを経営していることが報告されました。

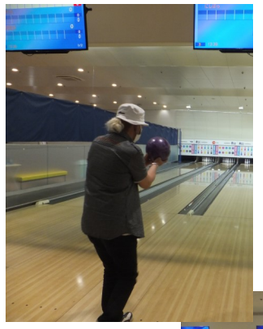
短い時間でしたが、利用者・ご家族の貴重な意見交換の場となりました。

ボーリング大会　やりました！

結いの会の企画で、2023年6月10日岡山フェアレーンでボーリング大会を開催しました。今年は初めてガーター防止レーンを外し、積極的に投げました！！

参加者は、わくわくメンバー３名、喜楽メンバー８名、職員４名、ＯＧメンバー２名合計１７名です。

みなさんとても楽しそうで、ストライクやスペアの時にはハイタッチをしたり、ピンが１本だけ残ってしまった時に「おしい」と声をかけあっていました。



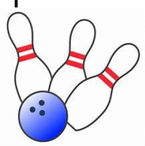
上位４名には賞品が登場！

今年の賞品は、自分で選べます！！

Ｙショップ商品券・喜楽弁当券・某ドーナツ屋の商品券・コンビニクオカードと充実のラインナップです。

優勝した人から欲しい賞品を選びました。

なお優勝者は喜楽のメンバーさんでした。



だれもが安心してかかれる
医療費助成制度の実現をめざして

精神障害者の医療費助成を実現する会」の結成総会開かれる

２０２３年６月１５日林道倫精神科神経科病院内ひまわりホールにて、結成総会が開催されました。精神に障害がある方々は、定期的な通院が欠かせません。そのため通院については国の制度で医療費が１割負担になり所得に応じて負担金の上限が設定されている自立支援医療という制度があります。しかし、入院や他科受診には適用されていません。岡山県では、重度の身体・知的障害者の方には医療費が１割負担になる心身障害者医療費助成制度があります。しかし精神障害者は対象となっていません。精神障害者は体調に波があり内科・身体疾患を併発している人が多いのです。しかも安定した就労が難しいため非課税世帯が多く、医療費の高さから受診をためらいその間に病気が進み病院にかかったときには手遅れになっていたという利用者もいました。精神障害だから他の病気にはかからないということはないのです。ぜひとも安心して医療にかかれるよう岡山県として他の障害者と同じように医療費の助成を望みます。

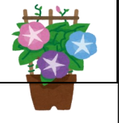
全国の自治体から遅れている岡山県の制度

精神障害者が医療費の助成を受けられる制度は、すでに全国の多くの自治体で実施されています。２０２３年４月時点において医療費助成の制度がない自治体は残すところあとわずかで、岡山県を含めて全国９府県となっています。多くの当事者やご家族からは、１日も早い全国のすべての自治体での制度の実施が望まれています。

精神障害者の助成を実現する会
連絡先：林友の会
〒703－8520
岡山市中区浜472
TEL　086－272－2957

2022年度　苦情報告

受付日	発生時期	場所	内容	受付者	対応結果
6月2日	2022年5月	ワークハウス・わくわく！	職員の言動に対して 作業の状況についてきちんと答えてほしい。	高橋	契約職員と常勤職員間での作業の情報共有について確認していく。
10月17日	2022年10月	ワークハウス・わくわく！	職員の言動に対して 侮辱されたような気がした。	高橋	誤解を与えた言葉に対し担当職員から本人へ謝罪。作業場を変更。
1月31日	2022年12月	ワークハウス・わくわく！	岡山県運営適正化委員会　苦情受付係 「大声を出す怖い利用者がいる。」と訴えられる利用者がいる。連絡をとってほしい。	高橋	本人休所中のため、自宅へ3回電話　不通　伝言残す
2月8日	2022年12月	ワークハウス・わくわく！	2022年度年末年始の特別手当について	高橋	説明との齟齬があり、翌月の工賃にあわせて支給すること。 特別手当の支給条件については次回から事前に掲示していくこと。
2月22日	2022年12月	ワークハウス・わくわく！	大声を出した利用者の退所 コロナ感染者への謝罪要求 時給の見直し	高橋	高橋苦情受付担当者　黒田所長　本人の3者にて面談 利用者については、作業場を移動 謝罪ではなく手洗いの講習 時給についてはこたえられないことを説明 通所再開となった。
2月16日	2023年2月	ワークハウス・わくわく！	職員の言動について	高橋	高橋苦情受付担当者から担当職員へ注意。



2022年度 ワークハウス・わくわく！事業報告

＊新型コロナウィルスの影響

新型コロナウイルスはワークハウス・わくわく！でも感染者が発生しましたが、クラスターにならずにすみました。

新しい職員体制のもとがんばっています！

喜楽の独立に伴い、１０月より新たに黒田所長に交代し、新しい職員体制によるワークハウス・わくわく！となりました。

１０月からベースアップ等支援加算や特定処遇改善加算を取得。

２０２２年度の障害福祉サービス事業収益は予算に対し１０１％、前年比４，４２３，２７３円増となりました。

＊職員の役割の変化 仕切る役割からフォロワーに

利用者が成長し作業を任せられるようになり、職員に求められる役割も、作業員としての役割から利用者が自分で作業を遂行できるようになるための支援へと大きく変わりました。ただ職員で採用されたからといってもすぐにその役割がとれるわけではなく、経験と学習が必要です。そのため業務会議や利用者についての支援会議の頻度を増やし、職員一人一人に対し利用者への支援についての相談をしてきました。

しかし毎日来られていた利用者の入院や長期欠席が発生し、目標とした延べ通所者数には及びませんでした。

今後も障がいがある方々への理解やかかわり方、就労支援事業にかかわる知識や技術等を職員同士で学ぶ場を継続していくと同時に、より多くの利用者に働く場所・居場所として利用してもらうためにはどう工夫していくのがいいか、みんなで相談し考えていきたいと思います。

洗濯作業 特別手当出せました！

洗濯・封入れ作業は、岡山市内の公立学校カーテンの洗濯や官公庁からの優先調達による注文が入り、予算に対し１１３％、前年度より２２７，５７４円増の９２７，６１４円となりました。郵送作業や清掃については前年度とほぼ変わりませんでした。増収分は繁忙期に「特別手当」として出しました。

Yショップ

Yショップの売り上げは、コロナ禍による一時休店、また４月からの値上げラッシュのため前年度より▲１，６２１，４０９円少なく、予算に対しても７９％の１０，９６５，３３２円となりました。

利用者工賃については、延べ８５名に夏季３９，０００円、冬季１００，０００円、期末８０，０００円の計２１９，０００円の特別手当を含む１，６３８，５２５円が支給できました。

2022年度 喜楽 事業報告

通える利用者が増えました！

でも新規利用者は０名

２０２１年度は、３１２日開所し延べ３，７２６名の受け入れを行ったのに対して、２０２２年度は３１１日開所し２０７名多い３，９３３名の受け入れを行いました。

２０２１年度の新規利用者が安定して通所出来るようになり２０２０年度には一日平均８・９名だった通所者数が、２０２２年度には１２・６名に増え経営状況が安定いたしました。

しかし今年度の新規利用者は１名もおらず障がいがある方々が働いてみたいと思える場所づくりとそのＰＲが大きな課題となりました。

２４名の登録者の内、週に４日以上通所する方々は１２名になります。一方、月１０日の利用に満たない利用者の方もいますが、少しずつ通所日数を増やしていけるような支援体制づくりにむけて職員間の情報共有と相談体制の確保が、継続課題となっています。

宅配弁当屋喜楽 材料費上がって大変ですが頑張りました！

就労支援事業収益は、個別宅配件数が伸び前年度より１，６２１，７４３円多い２７，５５２，４９０円の売上となりました。収益が伸びた要因として、ディサービスやグループホームなどの臨時の提供がありました。

「おうちＤＥごちそう」については年間４０５食減、３０５，０４６円減の４６９，２５４円になりました。

お花見弁当
1080円（税込）

季節食ではお花見弁当やクリスマスオードブル９５食、おせち９０食、恵方巻１０９本の販売に取り組み、前年度とほぼ同等の６９，６５０円の売上がありました。

これらの商品の販売を行ったことで原材料費の高騰の中、今期全体で利益を残すことができました。

＊苦渋の値上げ。日替わり弁当５４０円へ

弁当販売の売上はコロナ禍の中でも順調に伸びましたが、原材料価格高騰の影響により原材料比率が前年度の４５％から５０％まで上がり利用者の方々の工賃に影響するところまで追い込まれていました。そのため２００５年の開店当初よりワンコイン５００円の販売を行ってきましたが、２０２３年1月より５４０円に値上げいたしました。

＊利用者月額平均工賃 初めて２５０００円達成！！

値上げにより顧客離れを心配しましたが、「大変なんだから仕方がない。物価高に負けずがんばって」と逆にお客様からはあたたかいお言葉を頂戴いたしました。

その後もなんとか売上を維持することができ、２０２２年度は利用者の方への月額平均工賃額は２５，０４２円と、初めて２万５千円を突破することができました。

これも大勢の皆様方のおかげと感謝いたしております。これからも利用者の方々がいきいきと暮らしていけるよう一緒に頑張りたいと思います。